

R.I. 会長 W・ジャック・デービス (バミューグ)

Serve to Unite Mankind.

全人類を結びつけるために奉仕せよ

●国際大会 東京

第358地区ガバナー 清瀬 二郎

第4分区代理 川口 隆三



会長
鈴木 銀蔵



幹事
上田 喜信

副会長	相臺 莊太郎	R 情報	田中 大輔
副幹事	岡田 章男	ソングリーダー	横山 智晃
会計	飯沼 清夫	拡大	横井善一郎
S A A	山崎 市造	社会奉仕	森川 一雄(理事)
各委員会委員長		インターアクト	森 要
会務奉仕	相臺 莊太郎(理事)	ローターアクト	赤羽 敬司
出席	関口 孝夫	青少年	桃井 順諦
親睦活動	花田 実(理事)	職業奉仕	小島 勇(理事)
会報	市村 明	国際奉仕	工藤 一男(理事)
プログラム	藤村 許次	世界社会奉仕	江川 勝
広報	松崎 芳隆	米山記念奨学会	崎山 三生
会員増強	大塚 恒治	R 財団	足立 清一
会員選考	利根川 節二		
職業分類	清水 正雄		中田 三郎(理事)

会長方針

会長 鈴木 銀蔵

<活動方針>

創立より2年目を迎え、各委員会の組織作りをする。

<活動計画>

親睦、出席、会員増強を為し、他の委員会も活発に活動するようにする。

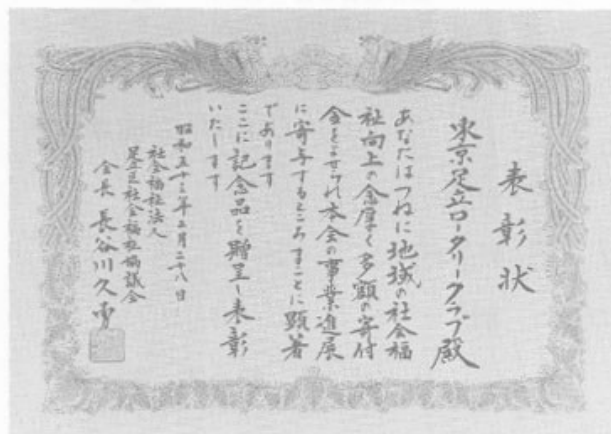
— 活動の記録 —

1977. 7. 1 鈴木銀蔵会長以下理事役員就任、ガバナーを囲む分区懇親会 (草津亭)。
 8. 8 第4分区遠隔地クラブ友愛委員会 (テルミナホール)。
 9. 13 第4分区財団委員長会 (ロッテ会館)。
 9. 14 ローター東京大会連絡会 (帝国ホテル)。
 11. 4 第4分区ゼネラルフォーラム (ホテルニューオータニ ホスト東RC)。
 10. 28 ガバナー公式訪問 (ガバナー清瀬二郎氏)。
 11. 25 創立1周年記念例会 (タカラホテル)。
 12. 24 クリスマス家族会 (タカラホテル)。

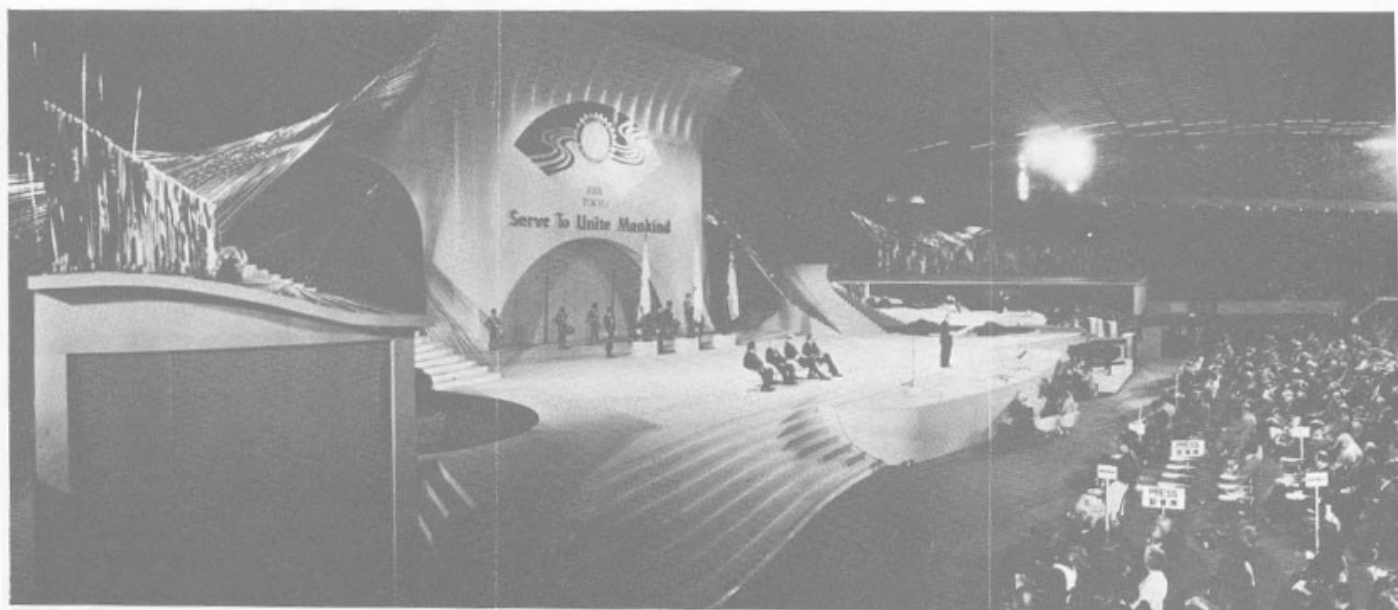
- 1978.1.12~14 第358地区年次大会（沖縄 ホスト沖縄RC）。
- 3. 3 第4分区広報委員会（タカラホテル ホスト足立RC）。
- 3. 17 クラブ親睦旅行会 伊東（ホテルえびな）。
- 4.7~9 青年リーダーセミナー（ホスト国立RC）。
- 5.14~18 国際ロータリー東京大会
 - 5. 27 第358地区協議会（京王プラザホテル ホスト青梅RC）。
 - 6. 28 新旧会長・副会長・幹事 地区役員歓送迎会（東京会館）。 会員54名



沖縄の年次大会に
家族連れて参加
アメリカ国旗が見える



9月9日
三遊亭円楽師匠
の卓話



1978年国際ロータリー東京大会

交平と環

The 69th Annual Convention of Rotary International

May 14-18, 1978 Tokyo Japan

国の内外から、4万人もの人々が一度に集まる大集会は、そう度々何処にもあるものではない。ここ10年間の日本ロータリーの歴史の歩みのなかで特筆大書されるのは国際大会が東京に於いて開催されたことである。参加して驚くことばかりが目につく。あの広いプール全部に床を張って、水泳競技の高い飛び込み台は、すっかり覆われて報道関係のセンターになっている。外国からの参加者は中央部分に座席が用意され、国内からの参加者は、両サイドの競技用観客席となっていた。同時通訳の大会専用受信機が参加者に販売される。最終日に小雨になると、ビニールの雨傘が全員に配布され、記念切手、大会バナー等細かいことまで配慮されていた。在京RCは全部コホストになっていて、それぞれ何名かが、役割を分担し、我がクラブからは、栗田さんが通訳として活躍された。大会行事の狭間には、全国から参加した人々により、アトラクションが披露され、なかには100名位はいただろうか、津軽三味線の演奏が始まると、場内は一瞬、水を打ったような静寂が訪れると、し



ばらくして大きな拍手が沸きあがる。こうした中で大会の重要な、報告、決議が進み、人々に楽しみと、心のゆとりを与えてくれた5日間であった。

ロータリーが参加することに意義があるとすれば、何時の日か会員相互が、うち揃って、国際大会に再び参加したいものである。

東京大会の概況

○場 所	ホストクラブ 東京クラブ 代々木国立水泳競技場
○大会運営費	7億6,170万5千円
○参加国	95ヵ国
○参加者	40,155名(登録者39,834名)

